

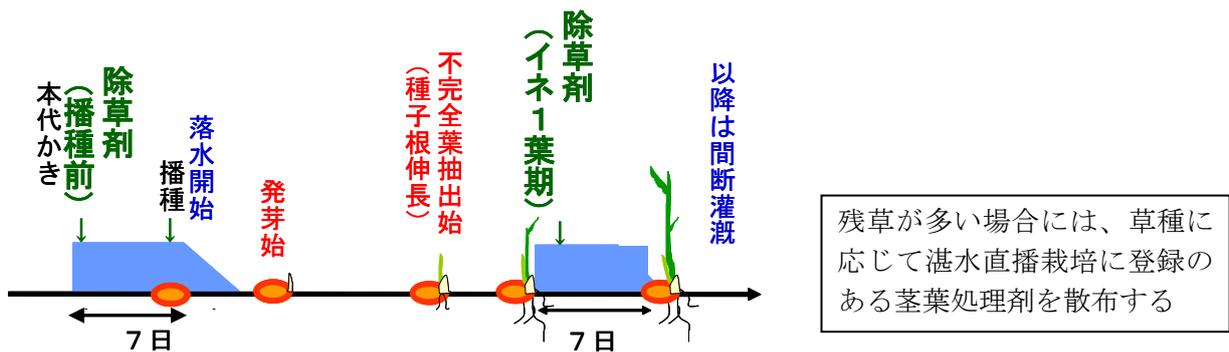
水稻鉄コーティング直播栽培における雑草防除について

水稻鉄コーティング直播栽培は種子に鉄粉を粉衣し、土壌表面に播種を行う省力的湛水直播技術である。表面播種でも浮き苗が発生せず雀害が回避できることやコーティング種子を農閑期に作り置きできるなどのメリットがあることから、県内においても徐々に普及しつつある。

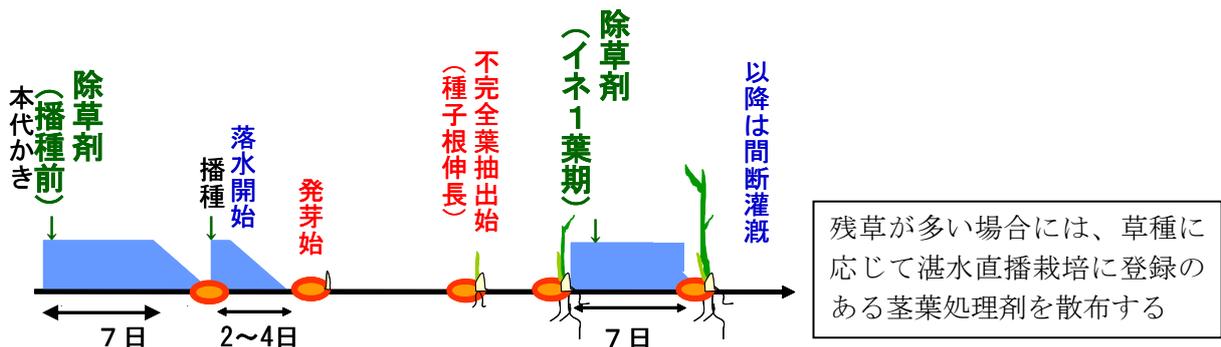
1 苗立ちを安定化させる水管理法に適合する雑草防除技術

鉄コーティング直播栽培は、カルパー粉衣の湛水直播栽培に比べてイネの葉齢進展がやや遅いため、雑草防除上は不利である。また、酸素供給剤を粉衣する湛水直播栽培での除草剤使用法は、水管理に起因する苗立ち低下が発生することから鉄コーティング直播栽培にそのまま適用できない。一方、近年開発が進んでいる播種前に処理できる除草剤は、鉄コーティング直播の水管理法に適合するとともに、雑草の活性や葉齢進展を十分に抑制することから極めて有効である。2回目の除草剤は、水稻への薬害が回避できるイネ1葉期以降に処理可能な土壌処理剤を湛水処理する。これらの体系処理によって、苗立ちを十分に確保しつつ、収量に影響を及ぼす雑草害を十分に回避できる。

2 湛水状態で散播する場合の除草体系と水管理法



3 落水状態で条播する場合の除草体系と水管理法



4 参考文献

- (1) 山本真之・保科 亨・瀧村勇二・栗久宏昭・貝淵由紀子・星野 滋 2011. 水稻鉄コーティング直播栽培における苗立ち安定化のための水管理および害虫・雑草防除技術. 日作紀 80 (別1).
- (2) 山本真之・貝淵由紀子 2010. 水稻鉄コーティング直播栽培の苗立ち安定化に適した水管理・除草体系. 日作紀 79 (別1).